

Ⅲ 女性医師等キャリア支援連絡会議

全国会議講演資料集

Ⅲ. 女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議講演資料集

全国医学部長病院長会議
女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議

2018年11月2日（金）

日本医師会女性医師支援センター事業

日本医師会常任理事 平川俊夫



公益社団法人 日本医師会
女性医師支援センター
Japan Medical Association Woman Doctor Support Center

女性医師支援センター事業について

医師総数（約32万人）に占める女性医師の割合は約21%（平成28年）であるが、国家試験合格者では女性医師は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図り、医師確保対策に資することを目的とする。（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）

- 平成18年11月
厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託
- 平成19年1月
日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）
女性医師バンク以外の事業も開始
- 平成21年4月
「医師再就業支援事業」改め「女性医師支援センター事業」へ
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）

公益社団法人 日本医師会
女性医師支援センター
Japan Medical Association Woman Doctor Support Center

1

女性医師支援センター事業

1. 女性医師の就業・復職支援（女性医師バンク）

2. 女性医師支援の啓発促進（講習会・会議等の開催）

1. 女性医師の就業・復職支援 （女性医師バンク）



日本医師会女性医師バンク

厚生労働省の委託を受け、平成19年1月30日開設

今後急増していくと予想される女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的としています。



医師・医療機関がともにホームページ上で登録。求職者お一人お一人のご希望に沿った求人施設をご紹介します。専任のコーディネーターがきめ細やかに対応。

平成30年9月末現在

- 就業実績（累計） 778件
- 求職者数 1,130人
- 求人施設数 4,672施設

日本医師会女性医師バンク

女性医師バンク 2つの支援体制

① キャリア継続支援 (離職防止)

ライフステージに応じた柔軟な勤務形態を選び勤務ができます。

常勤

非常勤

スポット

② 復職支援

再研修のための施設をご紹介します。離職期間の長い方でも安心して復職いただけるよう支援いたしております。

研修

就業先の紹介

女性医師バンクの特徴

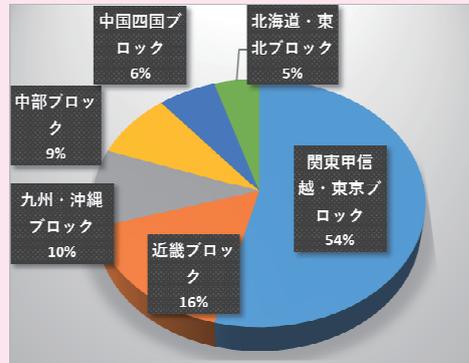
1. 求職・求人ともに登録料、紹介手数料等の費用は一切無料。
2. 日本全国、日本医師会会員、非会員問わず利用が可能。
3. 専任コーディネーターがお一人お一人の実情にそったきめ細かいサポート。
4. 医師のアドバイザーが専門的な相談にも対応

日本医師会女性医師バンク

■ 求職者登録状況（都道府県別）

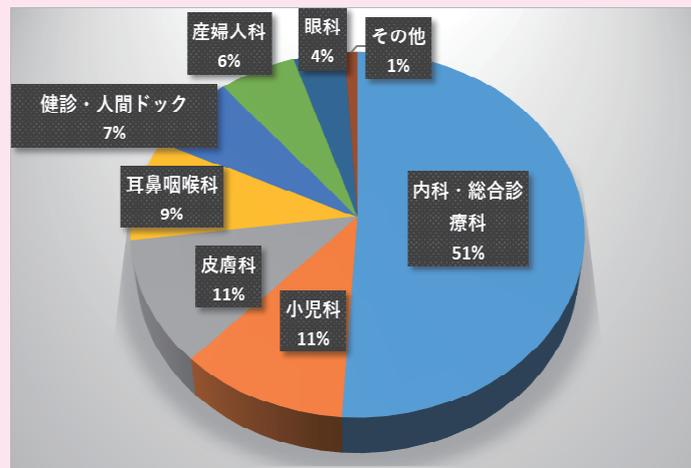
H29年度 求職登録件数（仮登録）

都道府県	仮登録件数（件）
東京都	113
神奈川県	26
大阪府	23
福岡県	20
兵庫県	15
愛知県	14
岡山県、埼玉県、北海道	7
千葉県	6
京都府、静岡県	5
宮城県、広島県、長崎県、 愛媛県、沖縄県、奈良県	3
岐阜県、群馬県、滋賀県、栃木県、 富山県、福井県、福島県	2
茨城県、宮崎県、熊本県、香川県、 高知県、佐賀県、山形県、山口県、 長野県、島根県	1
合計	239件



日本医師会女性医師バンク

■ 求職登録者の状況（診療科別）



日本医師会女性医師バンク

各関係団体との協力体制構築の推進

女性医師バンクでは、各関係団体との協力体制の構築を進めています。

※都道府県医師会との連携

- 各都道府県ドクターバンクとの連携
- 会報等への女性医師バンクの広告掲載、チラシの同封についての協力
- その他女性医師支援に関する情報の共有等

更なる事業の拡大に向け



「都道府県医師会ドクターバンク事業連絡会議（仮称）」
2019年1月に開催を検討中！

※大学医学部・医学会との連携

- 医学会のドクターバンクとの連携
- 会報等への女性医師バンクの広告掲載、チラシの同封についての協力
- 各イベントや学会総会などへの女性医師バンクのブース出展、女性医師支援に関するランチョンセミナー、シンポジウム等での女性医師バンクのグッズ配布等

日本医師会女性医師バンク

各関係団体との協力体制構築の推進

※行政との連携

- 公衆衛生医師、検疫官、矯正医等の求人の協力
- 保健所長会など、行政で医師が必要される部署等の会議で女性医師バンクの周知
- 求人情報の提供

※東京女子医大キャリア形成センターとの連携

- 再研修での連携

女性医師バンクの求職登録者のうち再研修が必要な方に東京女子医大の研修部門を紹介



研修終了後、女性医師バンクで就業先をあっせん。

2.女性医師支援の啓発促進 (講習会・会議等の開催)



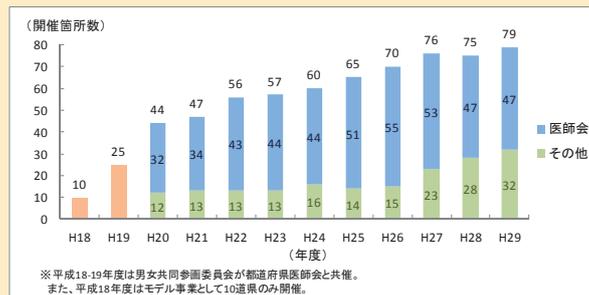
女性医師支援の啓発促進事業

- 医学生・研修医等をサポートするための会
- ブロック別会議（全国6ブロックで開催）
- 女性医師支援担当者連絡会（全国会議）
- 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会
- 地域における女性医師支援懇談会
- 女性医師支援シンポジウム等の開催
- 女性医師の就業等に係る実情把握調査

■ 医学生、研修医等をサポートするための会

女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮するためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、**医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが求められる**。本講習会等を通じ、医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続できるよう、多様な医師像のモデルを提示する。

- ◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼
- ◇ 開催に掛かる費用のうち、平成29年度以前は30万円を上限として、本会が負担。平成30年度は20万円。



■ 女性医師支援センター事業ブロック別会議

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただき、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より**全国6ブロックにて開催**。

<女性医師支援センター事業ブロック別会議> (平成30年度の開催予定)

- ◇北海道・東北ブロック (担当：岩手県医師会)
日 時：平成30年10月20日 (土) 場 所：仙台市内ホテル
- ◇関東甲信越・東京ブロック (担当：東京都医師会)
日 時：平成30年7月21日 (土) 場 所：東京都医師会館
- ◇中部ブロック (担当：愛知県医師会)
日 時：平成30年11月11日 (日) 場 所：愛知県内ホテル
- ◇近畿ブロック (担当：滋賀県医師会)
日 時：平成30年11月10日 (土) 場 所：滋賀県内ホテル
- ◇中国四国ブロック (担当：島根県医師会)
日 時：平成30年11月11日 (日) 場 所：岡山県内ホテル
- ◇九州ブロック (担当：長崎県医師会)
日 時：平成30年11月10日 (土) 場 所：長崎県医師会



■平成30年度 女性医師支援担当者連絡会（全国会議） －共催：日本医師会女性医師支援センター・日本医学会連合－

日本医師会女性医師支援センターの取り組みの周知や、各都道府県医師会、各大学医学部および各医学会における女性医師支援担当者の連絡協議会（全国会議）を開催。女性医師支援や男女共同参画に関する取り組みについての情報交換を目的としている。

【平成30年度の開催概要】

【開催日時】 平成30年12月9日（日） 10時～15時40分（於：日本医師会大講堂）

【参加者】

- ・各都道府県医師会から推薦いただいた管内の大学医学部の女性医師支援や男女共同参画の担当者
- ・各日本医学会分科会（126学会）の女性医師支援や男女共同参画の担当者
- ・都道府県医師会担当役員等

【内容】

- 医学会の取り組み事例発表
- 大学医学部の取り組み事例発表
- 都道府県医師会の取り組み事例発表



■女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会

女性医師がキャリアを中断することなく、就業を継続するためには、病院長を始め上司・同僚の理解が不可欠であることから、女性医師に関する就業上の問題点を明らかにし、子育て支援についての理解を深めることを目的とした講習会を開催。

ほぼすべての都道府県医師会において開催することができたこと、また対象となる病院長、病院開設者・管理者等の交代が、それほど頻繁ではないこともあり、平成21年度以降は一旦休止。
※平成25年度より再開し、平成27年度で再休止。

年度	開催回数 (都道府県医師会と共催)
平成18年度	22回
平成19年度	28回
平成20年度	31回
平成25年度	22回
平成26年度	24回
平成27年度	22回

法律や制度面での変化

病院長等、対象者の入れ替わり

働き方改革の中で女性医師支援が重要な位置づけに。

H30年度は、標記講習会を再開し、
女性医師の勤務環境の整備をさらに推進

■ 地域における女性医師支援懇談会

地域で活躍されている女性医師などにより、2020.30の実現、女性医師支援のあり方などを各地でディスカッションいただき、実践していただくことを目的としている。

また、本活動に参画いただける方々との連携を深める機会としても活用。

実施体制 日本医師会女性医師支援センター（以下、センター）が主催。各地で女性医師支援活動をされ懇談会を開催していただける方に実施責任者となっていただく。各医師会等、他団体との共催も可能。

費用 ①お茶代、場所代等として、一部をセンターが実費負担。
②事務経費（通信、印刷）として1開催につき一定額を負担。
※参加者旅費は対象外。

女性医師バンクの広報の場として活用し、アンケートなどを通じて参加者の意見を集約。

※平成29年度は、57回開催し、延べ925人が参加

■ 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

育児中の医師の学習機会の確保を目的として、都道府県医師会、郡市区医師会が主催する研修会・講演会・講習会などへの託児施設の併設促進として費用の補助を行っている。昨年度は20の都道府県医師会から補助の申請があった。

① 研修会・講演会・講習会などへの託児施設の併設促進と費用の補助 (育児中の医師の学習機会の確保)

→都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講演会等については、平成21年度から費用を補助（基本30万円）。

＜補助実績＞



■ 女性医師支援シンポジウム等の開催

女性医師支援シンポジウムの開催にも積極的に取り組んでいる。昨年度は、愛媛県西予市とのタイアップにて「第6回西予市お伊ネ賞事業表式・日本医師会女性医師支援シンポジウム」を開催。

今年度も11月18日(日)に西予市にて開催予定。

第7回西予市お伊ネ賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム ～被災を乗り越え、もっと素敵な西予市へ～

日時：平成30年11月18日(日)
13時～ 入場無料・託児あり
会場：西予市宇和文化会館

第1部 第7回 西予市お伊ネ賞事業表彰式
第2部 日本医師会女性医師支援シンポジウム

I 市民講座 久田直子(元NHKキャスター)
II 基調講演 塩崎恭久(衆議院議員/元厚生労働大臣)
III パネルディスカッション



女性医師支援センター
Japan Medical Association Woman Doctor Support Center

32

■ 女性医師の就業等に係る実情把握調査

2008年度に実施した同様のアンケート調査項目をベースに再度「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」を実施。

- 目的：女性医師支援をさらに具体的かつ実効あるものにするため、全国の病院勤務女性医師の現況を詳細かつ正確に把握する。
- 調査期間：2017年2月～3月末
- 調査方法：全病院(8,475施設)に対して、病院に勤務する女性医師に調査票の配布を依頼。女性医師に無記名で回答していただき、調査会社へ直接返送。
- 調査主体：日本医師会 男女共同参画委員会/日本医師会 女性医師支援センター
- 配布数：30,323
- 回収数：10,612 (病院勤務の全女性医師に占める回収割合 24.7%)
- 有効回答数：10,373 (配布数を分母とした場合の有効回答率 34.2%)

■ 日本医師会 女性医師支援センター ホームページ
ホーム> 資料集> 各種アンケート調査
<http://www.med.or.jp/joseiishi/shiryo.html>

女性医師支援センター
Japan Medical Association Woman Doctor Support Center

17

ご清聴、ありがとうございました



日本医師会新キャラクター
「日医君（にちいくん）」

 公益社団法人 日本医師会
女性医師支援センター
Japan Medical Association Woman Doctor Support Center